ORE PHOTO SERIES 1

浅香 唯

Photo by YASUO KUJIRAI

やさしく見つめて…

浅香 唯 やさしく見つめて…

撮影／鯨井康雄

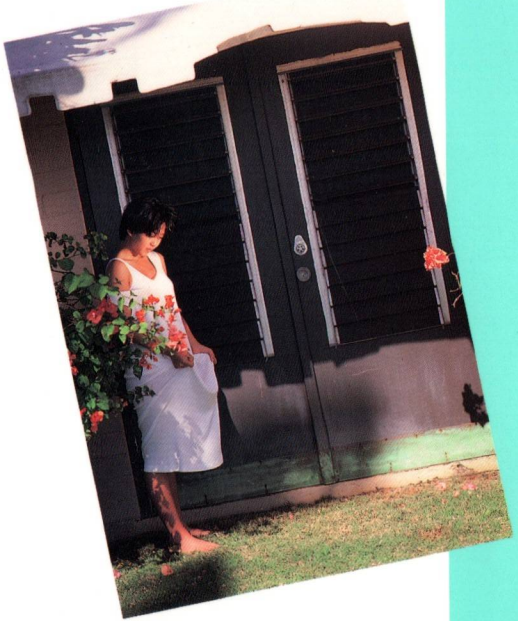
X73-1

講談社X文庫

¥680

YUI ASAKA

Photo by YASUO KUJIRAI



ISBN4-06-190109-5 C0172 ¥680E(0)

講談社X文庫　定価680円

ORE PHOTO SERIES

この夏，■唯はステキな海辺へ恋を探しに出かけます……そんなイメージを盛り込んだ写真集。ちょっぴり恥ずかしいけど，唯のまばゆい水着姿もいっぱい入ってます。でも，おねがいだから，やさしく，見つめて！

Design by PENCIL STUDIO

ORE PHOTO SERIES

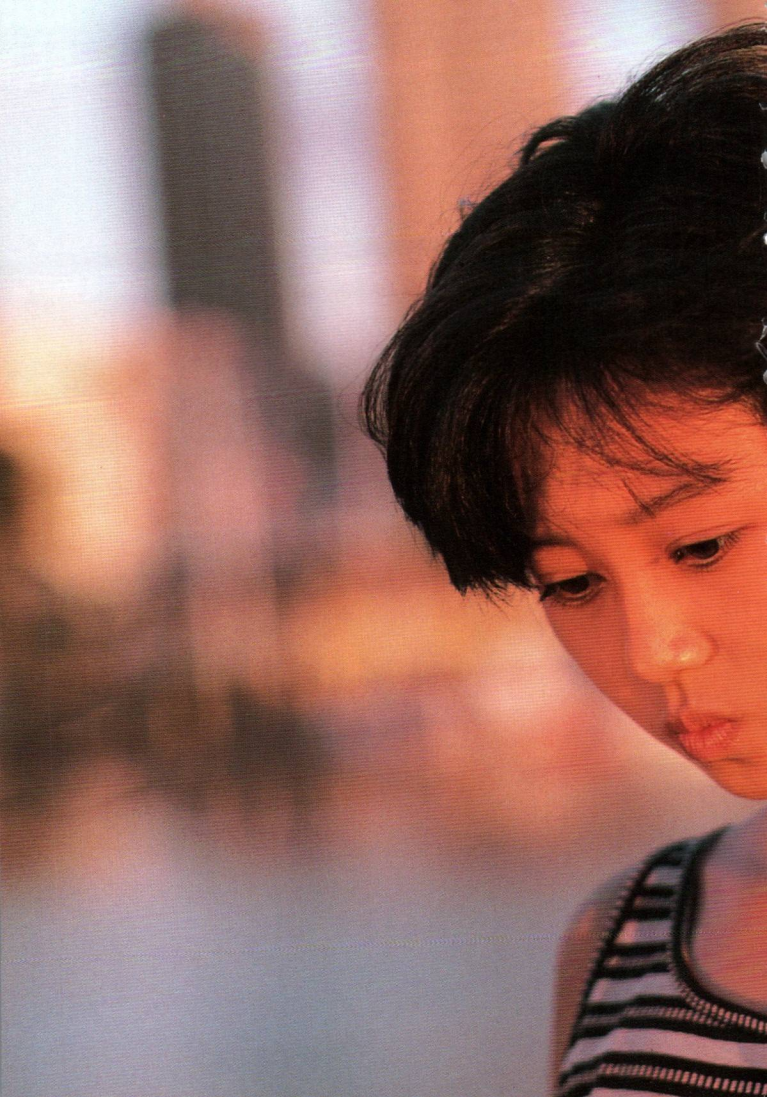
本名・川崎亜紀　昭和44年12月4日
生まれ　宮崎市出身
身長・153cm　体重・41kg
SIZE・B78　W57　H82　足22.5
血液型・Atype　星座・射手座
山口百恵さんを目標にガンバの娘

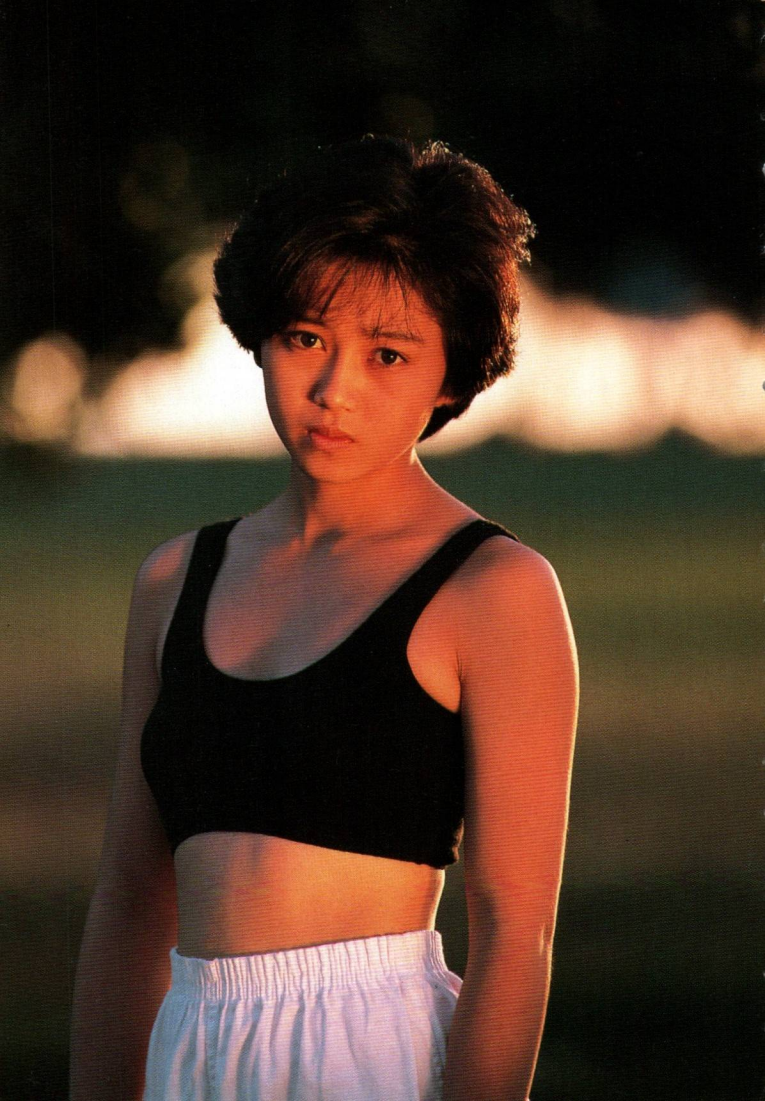
X73-1

太陽の陽射しを　いっぱい浴びて
私のハートは　ピクリと動いた
秋の風に　やさしく吹かれて
私のハートは　ふんわり休んだ

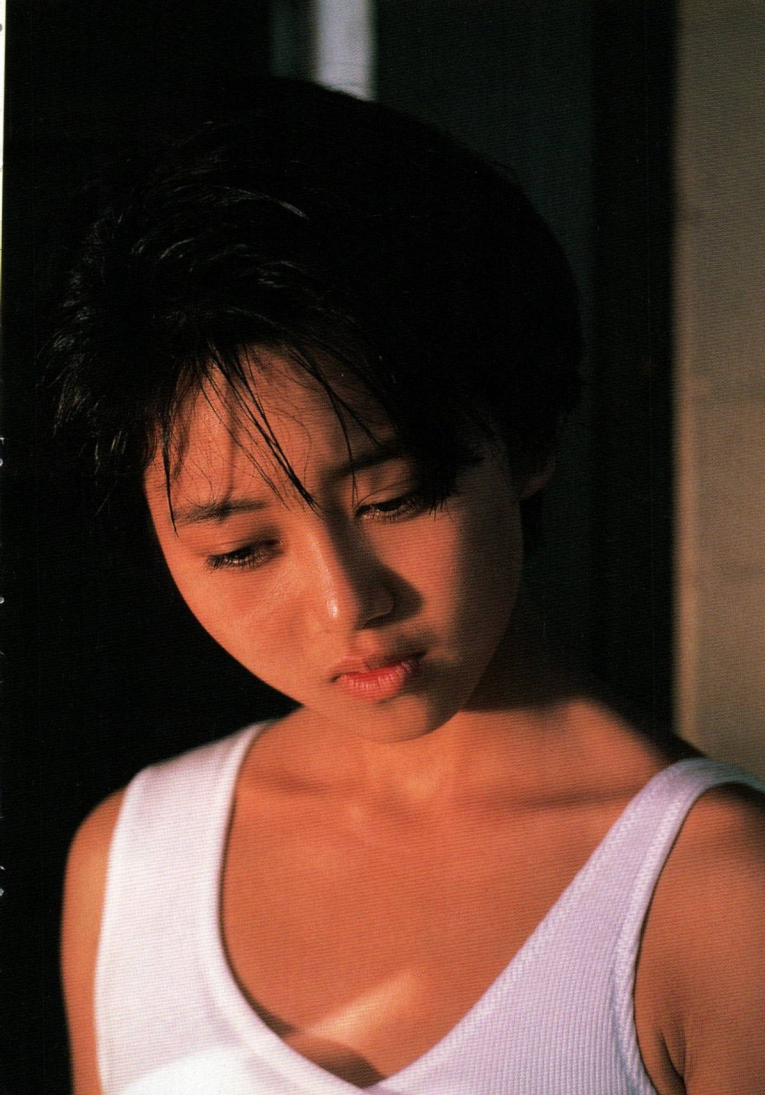
はしゃぐ心と　静かな心と
私のハートは　パッチワーク
つなぎ合わせた　思い出いっぱい
オレンジ色の陽に　抱かれ
私のハートは　ちょっと複雑メランコリー

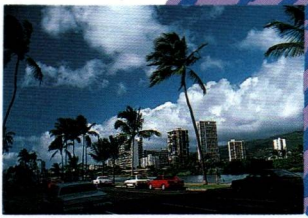
もしも私を　白い浜辺で　見かけたら
おねがい　おねがい
やさしく　見つめて





BEACH CRUISER





I NEVER FORGET YOU FOREVER

恋

もしかしたら

また　あなたに出逢えたならば
私　明るい笑顔で　お話しできるわ
ヤシの葉陰で　あなたと　ふたり

小さな声で

ささやくように　私のすべてを　伝えてみるわ
そして　最後の言葉は　私　きめてる
やさしく　やさしく

アイ　ラブ　ユー

TECHNICAL
US

Mr. Been
B.M
SURGICAL
US

US

girls

FALL IN LOVE IN FALL

秋

秋の風は

とっても　不思議
黄色の葉っぱを　あやつりながらも
熱いハートを　静めてくれるの

まるで　魔法は

もし　その風が　海を渡ってきたなら
あのココナッツの香りを　もう一度
私のとこまで　運んでほしい

淡い思い出　あふれてくるの

■YUI PRIVATE MEMO

唯はお母さんが23歳のとき生まれたの。だから、唯も早く結婚して若いお母さんになりたいの。結婚式は教会でしたいな。赤い絨毯を歩くところや、ケーキカット、指輪の交換にすっごく憧れているの。

「ウエディング　ベル」

港の見える　素敵な教会
思いっきり　愛した人と
ウエディング　ベルを　鳴らすの　きっと

左手に　かすみ草のブーケを　抱いて
右手に　彼のぶっとい腕を　つかんで
白い階段
一段一段　踏みしめてくの
赤い絨毯
そろりそろり　歩いてみるの

私は　ちょっぴり震えて　彼を見るの
彼の瞳は　やさしく笑うわ　きっと
「だいじょうぶだよ」っていうのよ　きっと
私は　瞬間ホッ　すこしたってポッ

白いドレスの　私はいうの
私は　あなた大切第一主義よ　って

白いドレス　いつ着れるのかな
19歳　ちょっと無理かな
よし　23歳までには　着てみる　きっと

■YUI PRIVATE MEMO

はっきりいって，ファースト・キッスには興味あり，の唯です。でも，A型潔癖性の唯としては，遊び気分で初体験は絶対にできないのです。だから，唯の場合，真剣に好きな人ができるまで経験できない運命なのよね。

「ファースト・キッス」

もしかしたら
明日　フォーリン・ラブ
そしたら　そしたら……
ファースト・キッス!?

いつ　経験するかな
どんな場所で　経験するかな
デートの帰り道　それとも彼の部屋!?
突然するかな　それとも期待をもって!?
興味シンシン　怖さいっぱい

もしかしたら
お仕事で　ファースト・キッス!?
そんなの絶対　つまんない
そんなの絶対　認めない

ファースト・キッスは　ハートでしなくちゃ
真剣勝負の男のコでなくっちゃ
恋して　恋して　恋して　しなくちゃ

ファースト・キッス……いつかな?

■YUI PRIVATE MEMO
唯は，ちょっとしたことでも，すぐに涙がジワッ。でも，そこで，グッとこらえてしまうのです。人前で涙を見せることが，とっても恥ずかしいと思っているから，しっかりガマンの子しちゃうのです。

「ストップ　涙君！」

ジワッ　ジワッ
涙が　くやしさこらえて　目蓋を押すの
オット　いけない　いけない
そこで　ストップ

涙　見せたら　それでおしまい
私が私で　なくなっちゃうよ
私は　泣かない
だから　涙君　ストップ　ストップ

涙君　キミが　ほかのだれかに見られたら
私　恥ずかしいもの
だって　自分の弱さを見られることでしょ
だから　ね！
涙君　ストップ　ストップ

だれも　いないところで　ふたりで話そう
私のお部屋でもいいし　歩きながらでもいい
くやしいことなんて　だれににもあるよ
悲しいことだって　だれににもあるよ

だから　涙君　ストップ　ストップ

■YUI PRIVATE MEMO

唯は，全然アテもなく，この電車，どこへ行くのかしら，なんて電車に乗ったりするのとか，たったひとりで，知らないところを歩いたりするのが好き。冒険好きなのですよ。男のコとデートするときも探検気分のデートがいいですね。

「大好き　冒険」

ああ　あの電車に乗ろうか
どこ行きの電車か　知らない
どんな街へ　行き着くのか　わからない
でも　そこが魅力よ　冒険旅行

ねえ　あの街角を曲がろうか
どんなお店があるのか　知らない
どんな人に　出会うのか　わからない
でも　そこが魅力よ　探検気分

ひとり歩きの　旅人したら
友達のやさしさ　わかるかもしれない
ひとり歩きの　冒険したら
自分が　ちょっと　かわいくなる気がする

私　大好き　冒険旅行
私　気にいってるの　探検気分
ふらり　ふらり　ひとり歩き
きょろきょろ　きょろきょろ　裏街歩き

■YUI PRIVATE MEMO

東京へやってきたばかりのとき、唯はパニックになってしまったのです。バスは乗り越すし、自動販売機で電車の切符を買うときもオロオロ。東京は唯にとって、外国そのものでしたね。

「TOKYO」

知らない　ところだらけの　東京の街
知らない　人だらけの　東京の街
ヤバイナ　ヤバイナ
あせった心が　ささやきかける
人ゴミ　ゴミゴミ　東京の街

知らん顔した　人の群れ
無表情な　人の群れ
どこへ行くのかしら　この人たち
どうして　こんなに急ぐのかしら
グレーの色した　東京の空

でも
活力あるな
エネルギーを感じるな
怖いような　ウキウキするような

しっかりしなくちゃ
私　ひとり　15歳の女の子
東京へやってきた女の子

TOKYO
街のために　人がいる街

YUI PRIVATE MEMO

故郷の宮崎を離れた唯の心配ごとは，置いてきた犬のことなの。名前は「ナチ」っていうの。唯には，ナチの笑顔だってちゃんとわかっちゃう。唯とナチには愛情がかよい合っているのですよ。

「私のナチ」

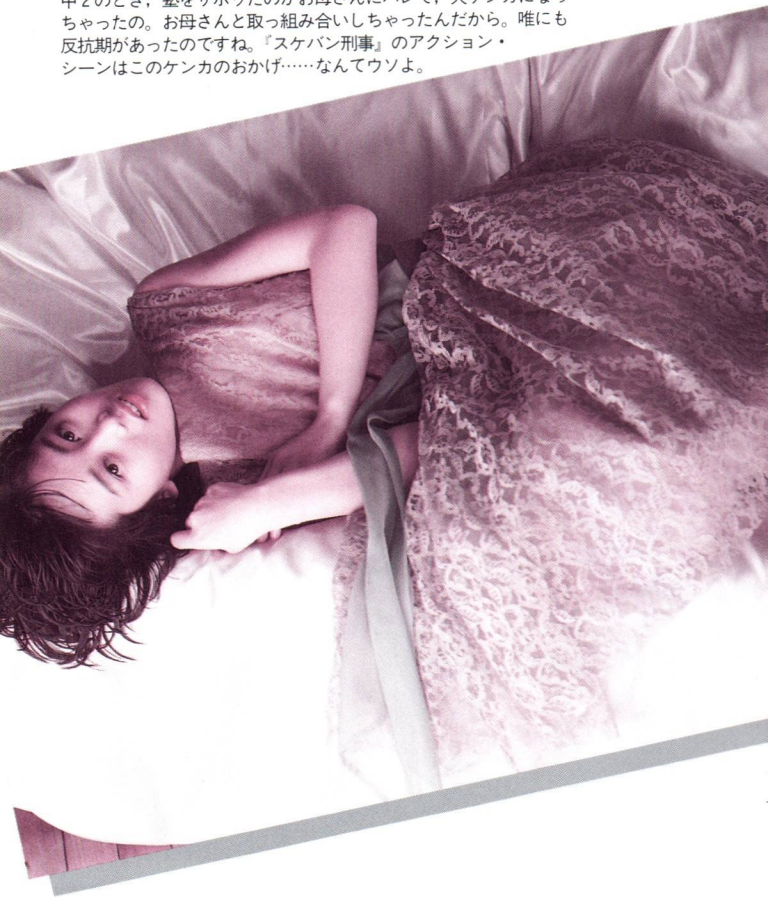
お～い　元気してるか　ナチ
ごぶさたしちゃって　メンゴ　メンゴ

でも　ナチ　聞いておくれよ
私の胸には　いつもキミが住んでる
尾っぽを揺らした　キミがいるんだ
笑顔を見せてる　キミがいるんだ
ナチ　キミは
ホントに表情豊かなヤツだね

ナチ　もうすぐ帰るよ　いいコで待っててて
いっしょに　海辺を駆けようね
いっしょに　アイスクリーム食べようね
いっしょに　昼寝もするんだぞ
早く　早く　あいたいよ
ナチ　カゼをひくなよ　ケガをするなよ
それが　私のいちばんの心配なんだ
ぜったい　ぜったい　元気してろよ
私　もうすぐ帰るよ
キミの素敵な笑顔を見たいから

■YUI PRIVATE MEMO

中2のとき，塾をサボッたのがお母さんにバレて，大ゲンカになっちゃったの。お母さんと取っ組み合いしちゃったんだから。唯にも反抗期があったのですね。『スケバン刑事』のアクション・シーンはこのケンカのおかげ……なんてウソよ。



「母さん　ありがとう」

バカッ！
大声あげて　私は家を飛び出た
服は　ビリビリ　やぶれてる

イテッ　とがった石が　私を刺した
いけない　私は裸足のままだ
イツッ　母の言葉が　私を刺した
わかってるよ　母さん　私が悪いって
でも　母さんの顔　こわかった
そんな母さんの顔　見てられなかった
だから　私　素直になれない
わかってるけど　やさしくなれない

一人で歩く　曲がりくねった小道
どうして　あやまろ……
「ごめん」っていえない

玄関の戸を　開けたら
母さん　後ろ姿で
「おかえり」といった
私　足の力が　スッとぬけた

■YUI PRIVATE MEMO

初恋は、保育園に通っていたころに経験したの。相手の子は、どんなときでも唯にやさしかったの。いつも、そのコとペアになって帰ってたんだけどね……ほかの女の子を好きになったらしくてね、グス。

「初　恋」

もう　あんなヤツとは　遊んでやんない
ぜったい　あんなヤツとは　帰らない

あいつは　ワタシを　裏切った
あいつは　ワタシの心に　涙を塗った
あいつは　あいつは　許さない

けど　どうして……
あんなに　ワタシに　やさしかったのに
いつでも　ワタシを　守ってくれたのに

どうして　どうして
別の女のコと　遊ぶようになったの
別の女のコと　いっしょに帰るの

好きだったのに……大好きだった
好きな分だけ　許せなかった

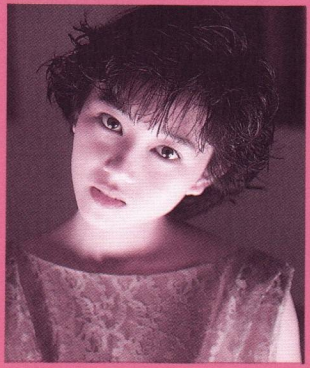
幼いころの　アマい思い出
幼いころの　ニガい思い出

初恋――ふわふわしてる
マシュマロ気分の私の初恋

唯の思い出，そして憧憬(あこがれ)を，ロマンチックな詩にのせて

YUIの

Poem World

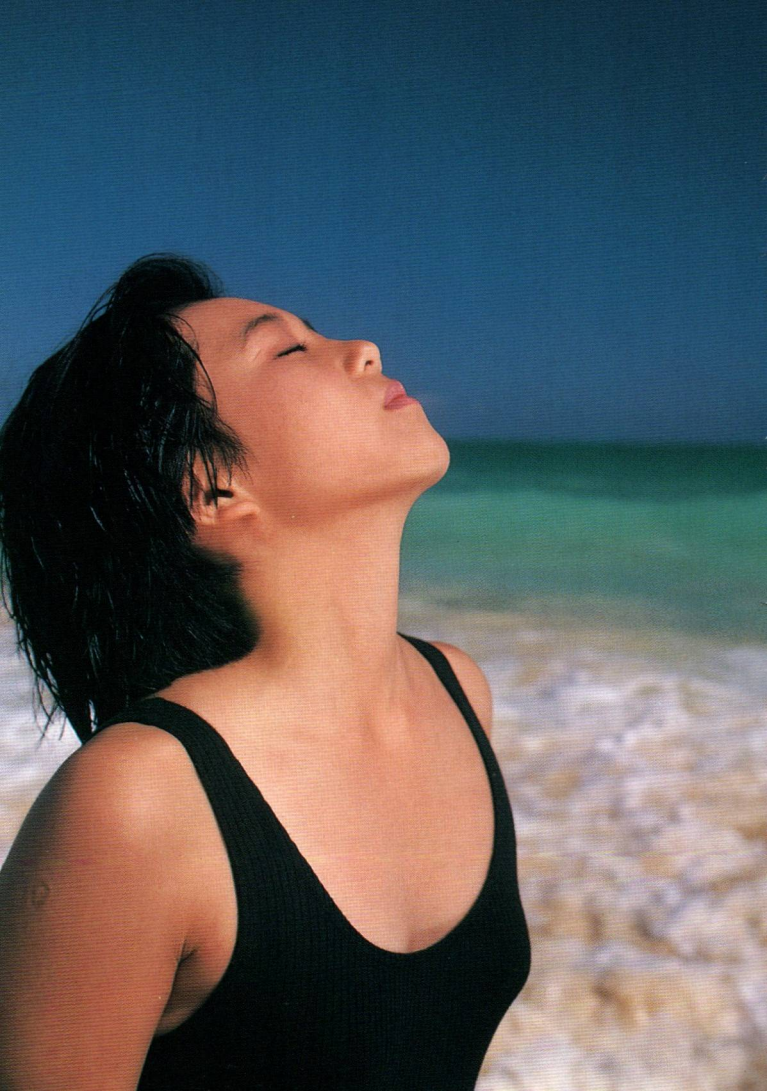


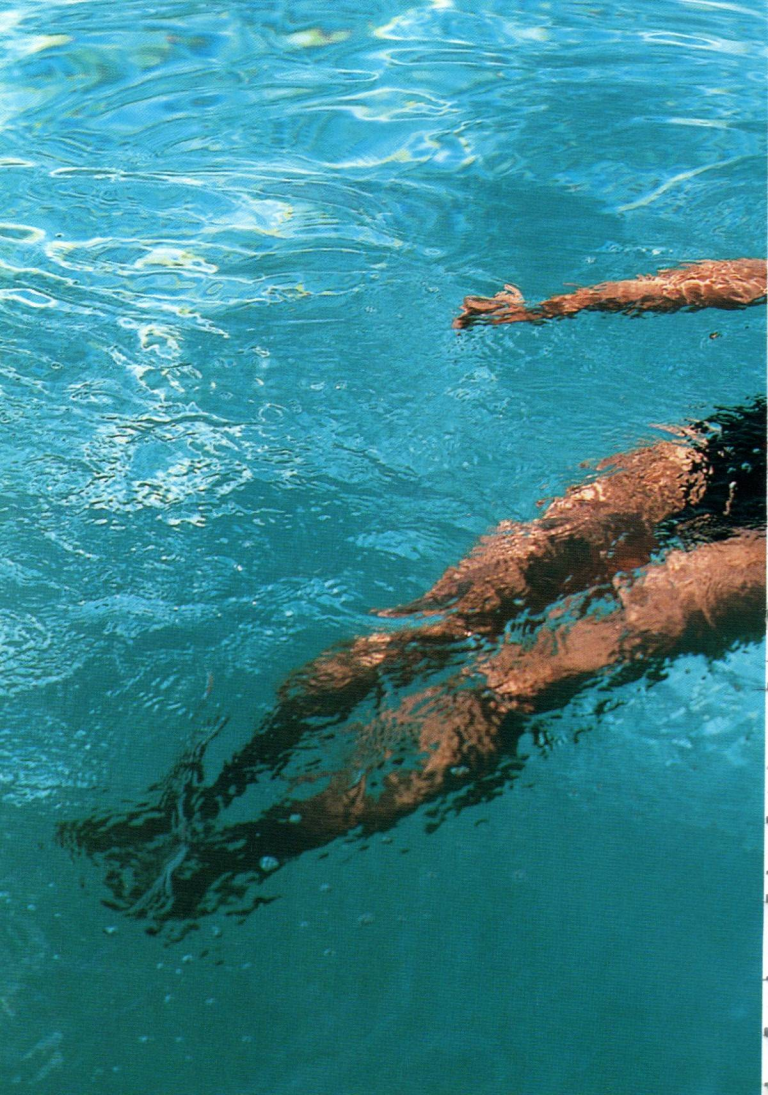
ちょっぴり，照れくさいけど
私のプライベートを
思いきって，あなたに教えてあげちゃう
幼いころの淡い思い出
結婚への私の夢
あなたのとこまで，飛んでけ，飛んでけ
私のポエムの世界

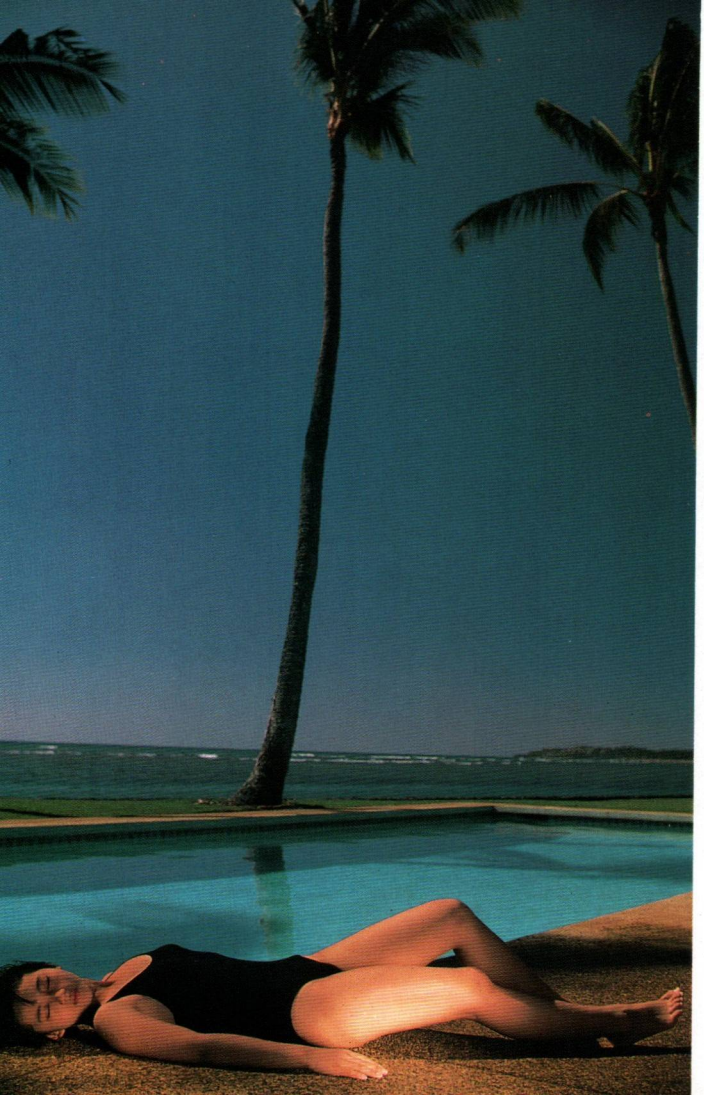
NY
ME

ANY
TIME

THE PALMS
3619

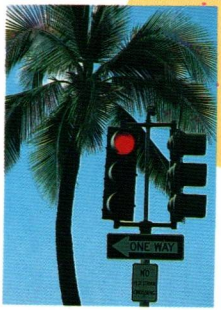






COME ON, SEASHORE PARTY

誘



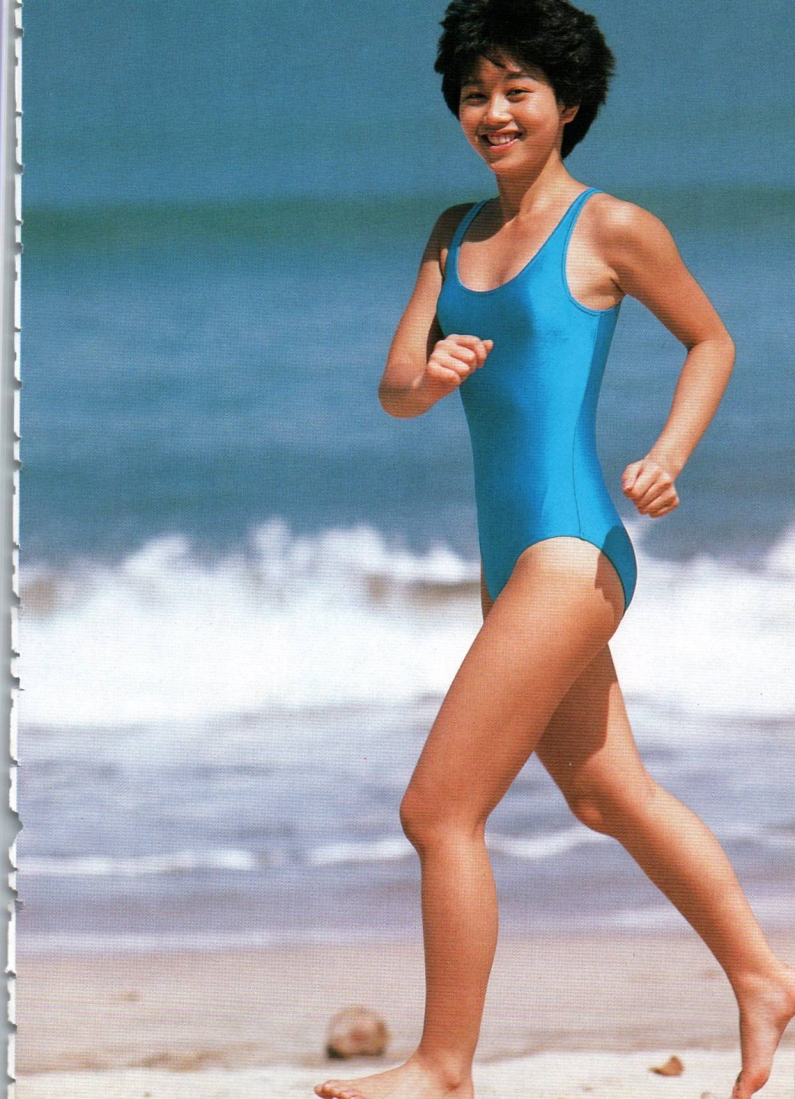
おいでよ おいで

夏のリゾート　誘惑いっぱい
歌おうよ　踊ろうよ　ってね
だれも　パーティードレスなんて　着てないのにさ

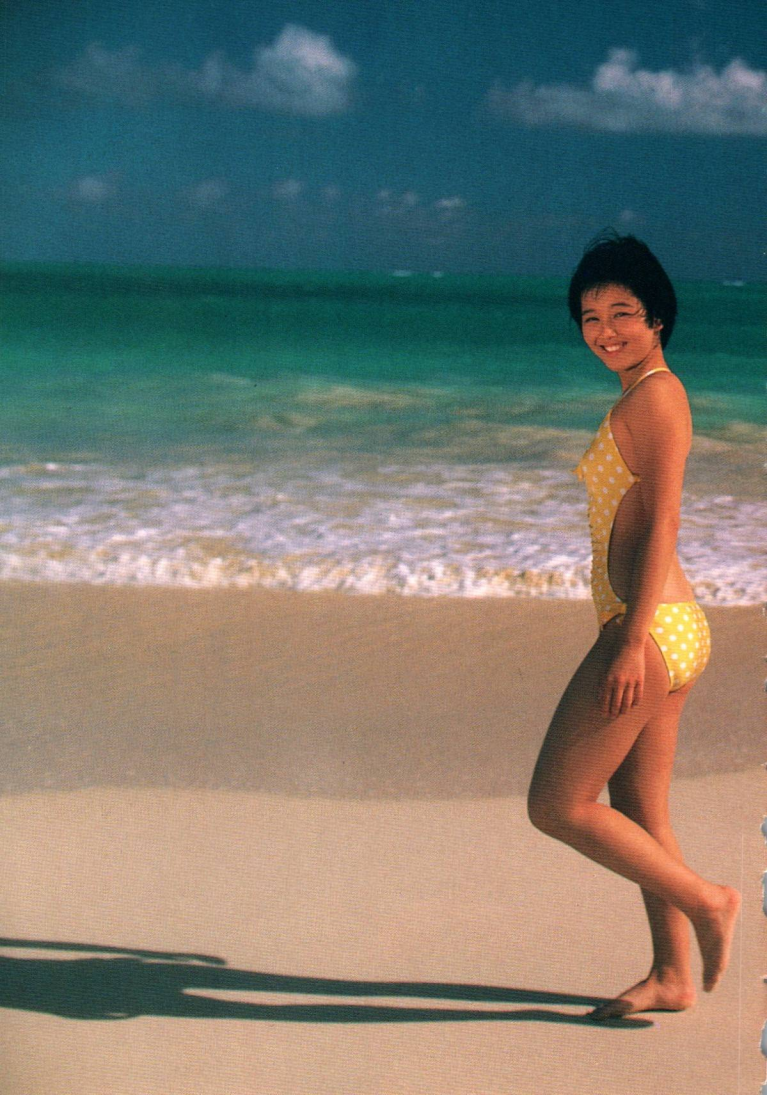
波が かってに 音楽始める

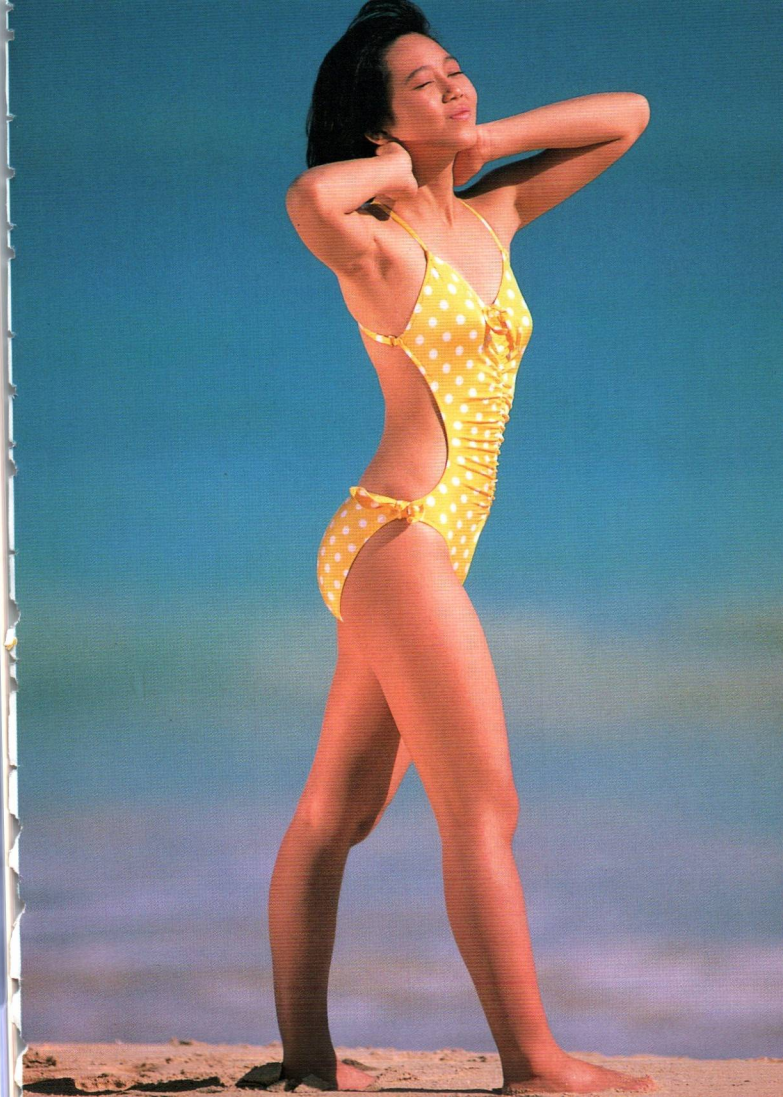
ためらいがちな私も　いつしか　つつまれ
だれかに肩を押されて　あなたと踊るの
揺れる揺れる　心が揺れる　ちょっと危ない

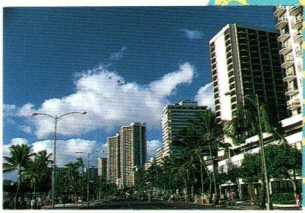
海辺のパーティー



LINDENHOF
NEW YORK BAY
PLEASURE BOAT







SUN SHOWER IN SUMMER

夏

あッ、暑ッ

眠気ざましの　サンシャワー浴びて
すんだ空に　おはよう　告げる
波間に踊る　光　いっぱい

太陽の　せいかしら

私　ウキウキ　ひとりではしゃぐ
ココナッツの香りに酔ったのかしら
胸は　ドキドキドキドキ　かってに　ときめく

ほんのり甘い　恋の予感

夏

あッ，暑ッ
太陽の せいかしら
ほんのり甘い 恋の予感

誘

おいでよ おいで
波がかってに 音楽始める
海辺のパーティー

YUIの
POEM WORLD

秋

秋の風は
まるで 魔法ね
淡い思い出 あふ れてくるの

恋

もしかしたら
小さな声で
アイ ラブ ユー

でもでも
夢見るくらい　いいかもね

ステキな彼と
ヤシの葉陰で　ポツンと　ふたり
BGMには　波と風……
うつむきかげんの　私だけれど
ちょっぴり　気どって　色っぽく
夏の太陽でも　誘ってみるか
秋の風とも　遊んでみるか

私
ホントの恋に　恋しているの
オトナの恋に　魅せられているの

あーあ
ため息ばかり　でてきちゃう

早く　ホントの恋を　してみたい
オトナの恋を　経験したい
ふふふ
まだまだダメかな　私には……
だって　私　臆病なんだもん

浅香 唯

やさしく見つめて…

撮影／鯨井康雄

1

YUI ASAKA

Photo by YASUO KUJIRAI

講談社文庫